

関西支部会員の皆様にはお願いです。



里村 義 征 (文理学部 14 回(1966/3 卒) 法律)

1. 貴方の得意なこと、好きなことを実現する場としてふすま同窓会関西支部を活用してみませんか。場合によっては米沢工業会(工学部)、鶴窓会(農学部)と連携することも可能と思います。パイプは構築済みです。先日、皆様にもお知らせした米沢工業会企画の一泊二日の和歌山の旅に私も参加致しました。幹事さんたちの献身的な準備のお蔭で学生時代に戻った様な素晴らしい時間を味わわせて頂きました。
2. パソコン操作に慣れている方、立候補して頂けませんか。私はパソコン操作が不得手です。会員への連絡、意見交換などが home-page で可能になれば随分事務効率が上がります。
現在の全て郵便利用に比べ費用も含め効率が上がります。事務局を担当願えれば有難く思います。
3. 里村はこの 2 月に後期高齢者の仲間入りをしました。2 年前にはガンの手術も受けました。共に運営の相談に乗ってくれる方が立候補していただければ幸いです。勤務中などで時間的制約がある方は可能時期をお知らせ頂く事もありがたいです。自動車免許更新も済ませたので、もうしばらく判断能力は大丈夫と思います。

地縁、血縁のない私が奈良に住むことに決めたのは、今から約 24 年前。日本では西に「阪神淡路大震災」東に「地下鉄サリン事件」があった年の 12 月でした。大阪で勤務するため東京から最初で最後の希望転勤でした。

大学卒業後選択した会社の初任地は東京でした。世界中に事業展開している会社でしたが、語学力に自信が無かった私は日本国内だけですが 13 回の転勤、独身寮を含め 20 回ほどの引越しがありました。

子供は 3 人いますが皆、産まれた場所、家は別々です。東京、大阪間を 3 往復しました。通算約 10 年の単身赴任も経験しました。家族特に妻には苦勞をかけました。奈良に永住を決める際は、東京育ちの妻には結婚のプロポーズ以来のお願いをしました。芸術家は別として同世代の多くの男性がそうだったと思いますが、高度経済成長期や大不況の中で経済最優先の仕事をして来た私は、老後はより静かな文化の香りがする生活を希望しました。和辻哲郎氏や亀井勝一郎先輩の作品が愛読書だったことや、以前大阪勤務の時に訪れた奈良の秋篠寺の伎芸天

の美しさに感動した影響もあったかもしれません。私の勤務先は当時定年 60 歳でしたが、53 歳ごろに同期入社 130 名強の内将来のトップ候補 3~4 名以外、一制転出ルールがありました。(その後の仕事場の斡旋はありましたが)。多くの人は関連会社を希望しましたが、私はむしろ新天地を希望しました。独立する勇氣はありませんでしたが 30 年以上の色々な経験が、別の世界で通用するかどうか試したかったからです。

大阪の民間病院が後任事務長候補を求めている私に打診がありました。病院は社会的意義と同時に医師を頂点とした完全な国家資格者の集団です。かなりの規模の病院でしたので経営能力も必要でした。介護保険制度スタートを目前に控え多額の投資計画もありました。随分考えたうえで挑戦する決断をしました。苦勞もありましたが過去の経験を全て活かせました。2 年間の出向期間を含め 12 年間、診療以外色々な事をしました。着任以前から長年懸案だった暴力団員を警察の協力を得て逮捕したことも思い出の一つです。最終的には体調を心配した妻の意見に従って、任期途中で引退させてもらいました。仕事はやり切ったと感じています。

私も転勤・引越族でしたが、祖父、父もそうでした。父は東京生まれでしたが、親と同様製鉄会社に勤め、九州の八幡から岩手県釜石に転勤しました。そんなわけで私は岩手県立釜石高校を卒業し山形大学に入学しました。あの東日本大震災で友人やそのご家族、全財産を失った知人もいました。

奈良に住むようになって、仕事も引退したことから、10 年前に 30 年間ふすま同窓会関西支部事務局長を務めた先輩から話がありその職責を引き継ぎました。その後支部長が高齢を理由に引退希望しましたが後任の引き受け手がいないので、変則ですが私は事務局長・支部長を兼務することにしました。

現在も続けております。同窓の皆様からの連絡をお待ちしております。

※私の連絡先は TEL (0742)41-9286、

E-mail "saku-201@m5.kcn.ne.jp" です。

なお、個人情報保護法の大切さや遵守義務は勿論承知しているつもりです。